

## 1.安全に使用していただくために・・・

### 健康上のご注意(必ずお読みください)



- 長時間にわたる無理な歩行や疲れた状態での歩行、体調がすぐれない方やお酒を飲まれた方の歩行は、事故やけがにつながる可能性がありますので、無理のない範囲で歩行してください。また、歩行中に足・腰など身体に疲れや痛みを感じたら、必ず休憩を取ってください。もし、身体に痛みや不快感が続くようであれば、医師の診察を受けてください。

- 他の要因により、足や腰の一部にけがや障害が認められたり、医師から歩行などの運動を制限されている方、平衡感覚に影響の出る薬を服用している方は、歩行することによって、症状が悪化する可能性がありますので、歩行する前に医師に相談してください。

- 感染症などを防止するため、犬に装着した生活リズム計や専用フックを人が装着しないでください。

- 次の場合、生活リズム計を犬に装着しないでください。犬の体調などに影響を与える可能性があります。

- 歩行や散歩を嫌がるとき
- 生活リズム計の装着を嫌がるとき
- 犬の体調が優れないときやけがをしているとき

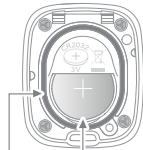
- 生後4ヶ月までの幼犬には使用しないでください。

### 使用上のご注意(必ずお読みください)



- 端子部を指や金属で触ったり、異物などを入れたり、無理な力を加えないでください。
- 航空機内での使用について、航空法により、離着陸時のあらゆる使用は禁止されており、処罰の対象にもなりますので、通信ボタンを押したり本体を振るなどの操作は絶対にしないでください。

- 電池ブタや専用フックのネジは、防水パッキンが正しく装着されていることを確認してからしっかりと締め、確実に固定してください。防水パッキンが正しく装着されていないか、ネジが確実に固定されていないと、雨や汗、ホコリなどが電池ボックスの中に浸入して、機器の破損や故障、電池の液漏れなどの原因となります。



電池ボックス  
防水パッキン

(生活リズム計は軽い水濡れから内部を保護する構造になっていますが、水没など過度の水濡れは故障の原因となります。)

- 犬に使用している生活リズム計とDS本体とを赤外線通信するときは、生活リズム計を一旦犬から外してください。犬が暴れたり、手足などの身体やDS本体などが噛まれたりして、けがや故障の原因となります。
- 分解や改造、自分での修理は絶対にしないでください。感電や故障の原因となります。

- 生活リズム計は、人と犬の生活リズムや歩数を測定するために設計されていますので、人と犬以外には装着しないでください。その他の動物や生き物に装着した場合、生活リズムや歩数が正しく測定されなかったり、装着した動物や生き物の体調などに影響を与える可能性があります。
- 生活リズム計やボタン電池は、ストーブやヒーター、ドライヤー、電子レンジなどで加熱したり、乾かさないうでください。ボタン電池が破裂するなどして、けがや故障の原因となります。
- 小さなお子さまや犬が、生活リズム計や専用フック、絶縁シートなどを噛んだり、誤って飲み込んでしまわないよう、次のことにご注意ください。万一、お子さまや犬が飲み込んでしまったときは、直ちに医師(犬の場合は獣医師)などに連絡をとり、適切に対処してください。
  - 小さなお子さまや犬、その他のペットなどが触れる場所、不安定な場所に保管しないでください。
  - 生活リズム計や専用フックを噛ませないでください。
  - 犬に装着するときは、噛んだり、飲み込んだりしない位置に、確実に装着してください。また、犬が生活リズム計の装着に慣れるまでは、暴れて外れるなどの問題が発生しないか様子を観察してください。

○犬に装着するときは、飼い主の方の目の届く所で使用してください。

○電池ブタや専用フックのネジは必ずしっかりと締め、確実に固定してください。

### ⚠ 注意

- ズボンの後ろ側のポケットに入れしないでください。大きな力が加わり破損などをし、けがや故障の原因となります。
- ストラップなどを装着する場合は、丈夫なものを使用してください。弱いストラップなどを装着すると、切れて落下するなど、故障の原因となります。
- ストラップなどを装着した場合、ストラップなどを持って生活リズム計を振り回したりしないでください。事故やけが、家財の破損、故障の原因となります。
- 生活リズム計や専用フックはプラスチックや金属部品で作られています。燃やすと危険ですので、廃棄する場合は必ず生活リズム計からボタン電池(CR2032)を取り外してから、各自治体の指示に従ってください。

・物を当てたり、落とすなど強い衝撃を与えたり、ひねったり、叩きつけるなど乱暴な取扱いをしないでください。

・生活リズム計や専用フックを床に放置しないでください。踏みつけてこわしたり、けがをする原因となります。

### 使用上のおねがい

- 万一絶縁シートが正常に抜けなかったり本体が動作しない場合は、電池ブタを取り外して一旦電池を取り出し、絶縁シートの一部が残っていないか確認してください。もし残っている場合は丁寧に取り除いてください。(→P.21)
- 汚れがひどいときは水で薄めた中性洗剤にひたした布をよくしぼってふきとり、乾いた布で仕上げてください。シンナーやベンジンなどの揮発油、アルコールなどでは絶対にふかないでください。材質を傷める原因となります。
- 直射日光の当たる場所、高温になる場所、湿気やホコリ、油煙の多い場所での使用、保管はしないでください。

- 電池ボックスの端子部に無理な力を加えないでください。
- 衣類などと一緒に誤って洗濯したり、液体をこぼしたり、水没させたり、濡れた手や汗ばんだ手で触ったりしないでください。
- 犬を雨や雪の降る日に散歩させたり、犬を洗ったりするときや、川や池など水がかかる場所では、生活リズム計を使用しないでください。生活リズム計は軽い水濡れから内部を保護する構造になっていますが、水没など過度の水濡れは故障の原因となります。
- 専用フックをベルトや犬の首輪などに装着するときは、フックのサイズにあったものの以外には使用しないでください。無理に装着すると、専用フックを壊したり、装着するものを傷めたり、生活リズム計が脱落したりする原因となります。
- 専用フックをベルトや犬の首輪などに装着したとき、ベルトなどに傷をつける可能性があります。傷がつくと困るものには、装着しないでください。

## ボタン電池に関するご注意 (必ずお読みください)

ボタン電池 (CR2032) は、誤った使い方をすると、液漏れをして皮膚などに障害を起したり、発熱や破裂、機器の腐食、衣類の汚れなどの原因となります。次のことを必ず守ってください。

### 危険

- ボタン電池のプラス (+) とマイナス (-) を間違えないように正しく装着してください。
- 電池や電池ボックスの端子をショートさせないでください。
- 万一本ボタン電池を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けてください。
- ボタン電池を加熱したり、水や火の中に入れたり、分解したりしないでください。
- 電池から漏れた液が目や口に入ったときは、すぐに多量の水で洗い、医師の診察を受けてください。漏れた液が、体や服についたときは水でよく洗い流してください。



## 警告

- 必ず市販のボタン電池(CR2032)を使用し、他の電池は使用しないでください。
- 長時間使わないときは、ボタン電池を取り出してください。
- ボタン電池は、充電式ではありません。絶対に充電しないでください。
- 傷ついたり、変形、液漏れしたボタン電池は使用しないでください。
- 電池交換の際は、電池の液漏れに注意してください。また、小さなお子様が使用する場合、保護者の方が交換してください。
- ボタン電池を廃棄するときは、各自治体の指示に従ってください。